

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 生野区

学 校 名 東中川小学校

学校長名 小坂 一郎

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東中川小学校では、第6学年 44名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

「平均正答率」について、国語は大阪市平均を2ポイント下回った。算数は大阪市平均を1ポイント上回った。理科は大阪市平均を6ポイント下回った。  
「平均無回答率」については、国語は大阪市平均を2.5ポイント、算数は大阪市平均を2.4ポイント、理科は大阪市平均を2.3ポイントそれぞれ下回った。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕  
領域別の正答率を見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」は1.8P、「情報の使い方に関する事項」は4P、「我が国の言語文化に関する事項」は3.9P「話すこと・聞くこと」は7.9P、「書くこと」は2.9P、「読むこと」は1.8Pそれぞれ全国平均を下回る結果となった。このような結果の中、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるかどうかをみる」設問の正答率については全国平均を5.1P上回った。  
〔算数〕  
領域別の正答率を見ると、「測定」は4.8P、「変化と測定」は1.4P、「データの活用」は5.1Pそれぞれ全国平均を下回った。また、「数と計算」は1.9P、「図形」は2.3P、それぞれ全国平均を上回った。  
算数の設問の半数のうち8問において全国平均を上回った。  
〔理科〕  
領域別の正答率を見ると、「エネルギー」は3.4P、「粒子」は1.0P、「生命」は1.0P、「地球」は8.7Pそれぞれにおいて、全国平均を下回る結果となった。その中において、「電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身に付いているかどうかを見る」設問の正答率は全国平均を1.5P上回った。

質問調査より

「自分にはよいところがあると思いますか」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目について肯定的な回答の割合が90%以上で全国平均を上回っている。引き続き、子どもたちの対話を大切に、安全・安心な生活を送ることができるよう努めていく。また、人の「役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目については肯定的な回答が100%であった。  
学習の中でのICT活用に関する項目についての肯定的回答は大幅に全国平均を下回っている。授業で活用するための系統的な取組を進めていく必要がある。  
「あなたの家では主に何語で話していますか」の項目で「その他の言語」と回答する児童が15.6%いる。日本語指導に加え、個に応じた指導、学び方をさらに進めていく必要がある。

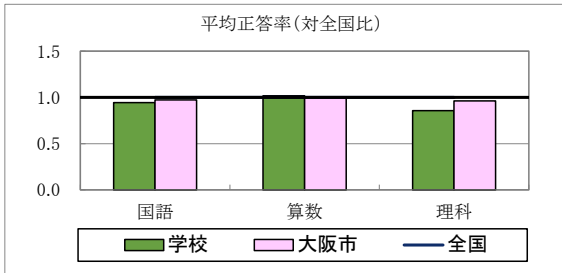
## 今後の取組(アクションプラン)

東中川タイム（短時間学習）や学力向上支援サポーター等を活用した個に応じた指導等の継続により基礎基本の定着をはじめ、学力の向上が少しずつ見られている。思考・判断にむけての学力を向上させるため、引き続き、基礎基本の定着に重点を置いて取り組むを進めていく。国語科の文章読解や漢字の書き取り、算数科においては、グラフや表、文章を読み取って必要な情報を読み取り理解することが苦手な傾向がみられる。6年間を通じ、系統的な指導計画のもと、引き続き、児童の課題に応じた指導の工夫が必要である。理解においても基礎基本の定着をもとに思考・判断・表現の力を伸ばしていく。学力、日本語の習得等、個々の課題に応じた指導について系統的に取り組む必要がある。また、生活規律の安定、自尊感情、ウェルビーイングの向上にむけて家庭や地域と連携した取組を継続していく。

## 【 全体の概要 】

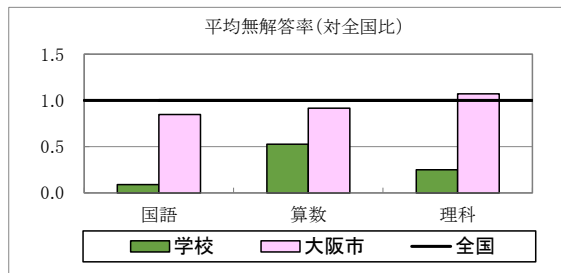
### 平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	63	59	49
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



### 平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	0.3	1.9	0.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



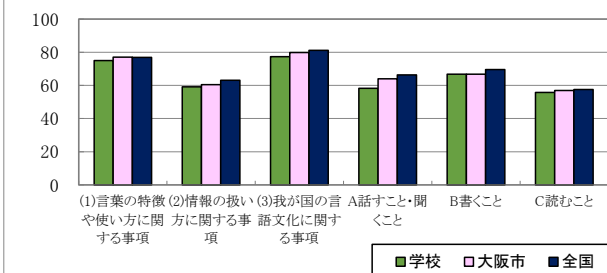
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	75.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	59.1	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	77.3	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	58.3	64.0	66.3
B 書くこと	3	66.7	66.7	69.5
C 読むこと	4	55.7	56.9	57.5

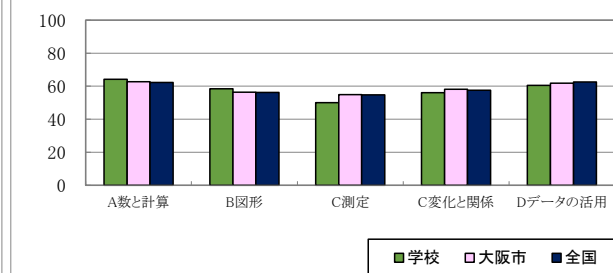
## 【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.2	62.7	62.3
B 図形	4	58.5	56.4	56.2
C 測定	2	50.0	54.9	54.8
C 変化と関係	3	56.1	58.2	57.5
D データの活用	5	60.5	61.9	62.6

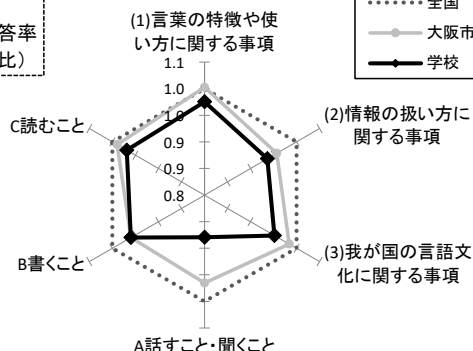
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



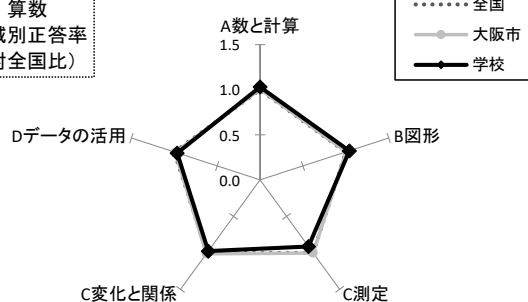
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

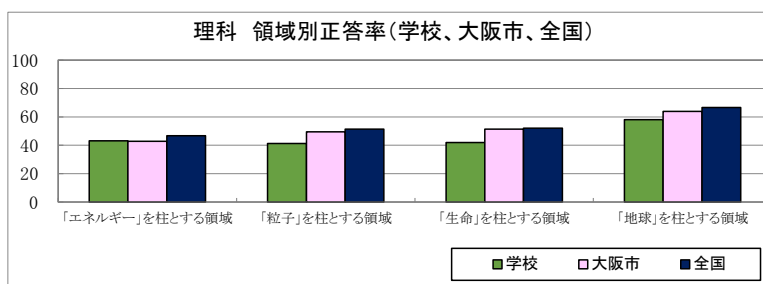


算数  
領域別正答率  
(対全国比)

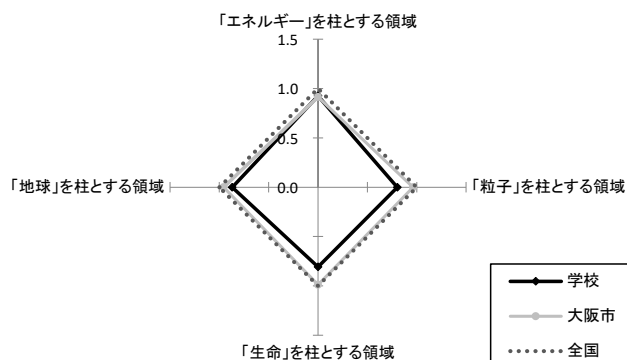


## 【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分	「エネルギー」を 柱とする領域	43.2	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	41.3	49.5	51.4
B 区分	「生命」を 柱とする領域	42.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	58.0	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



## 児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

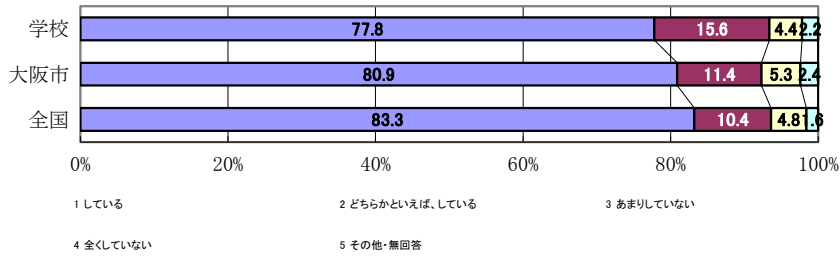
4

5

6

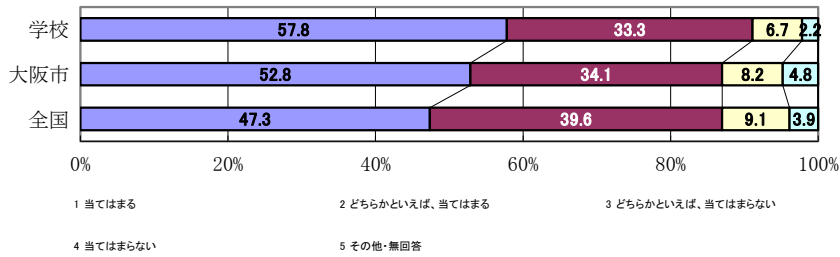
7

8



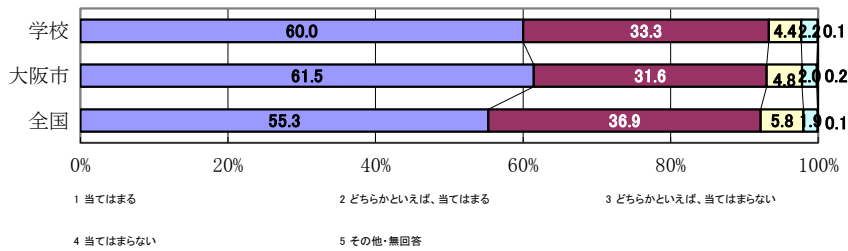
5

自分には、よいところがあると思いますか



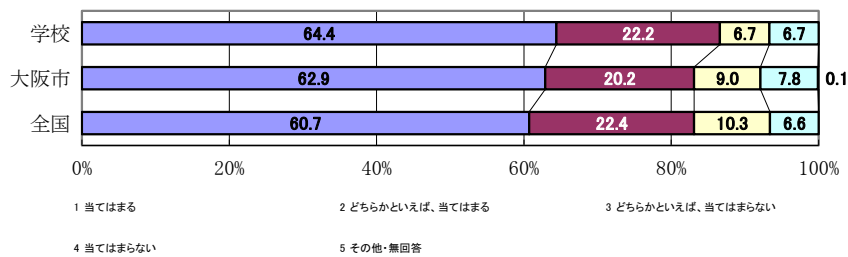
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



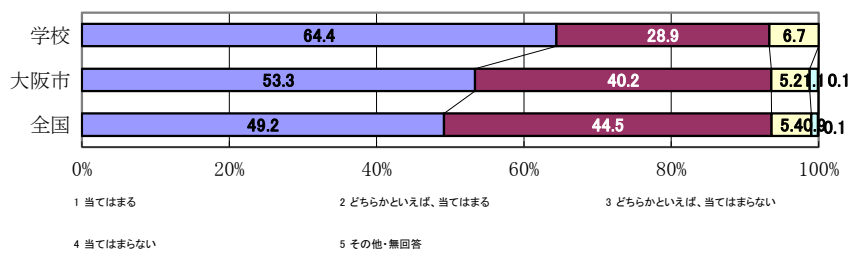
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



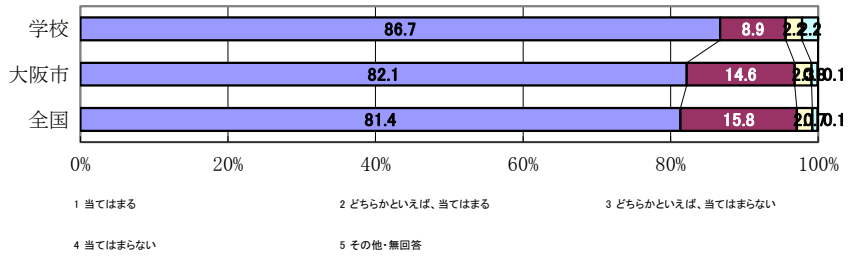
## 児童質問より

質問番号

質問事項

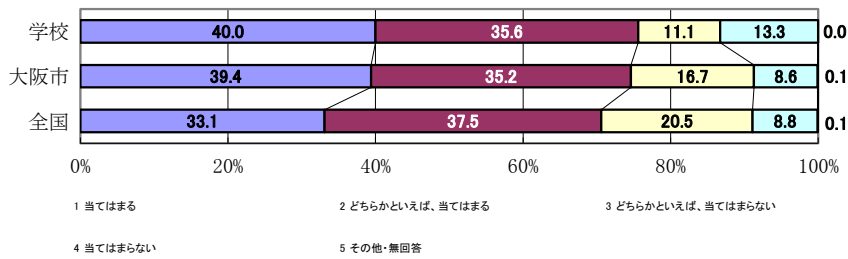
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



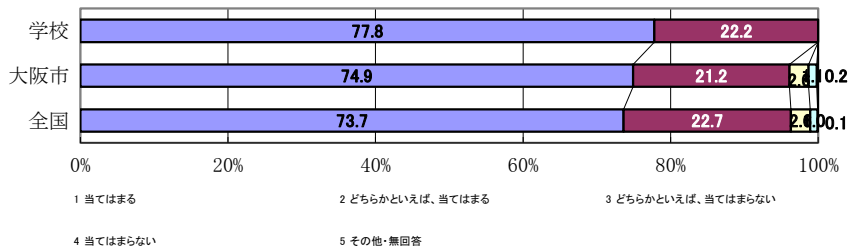
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



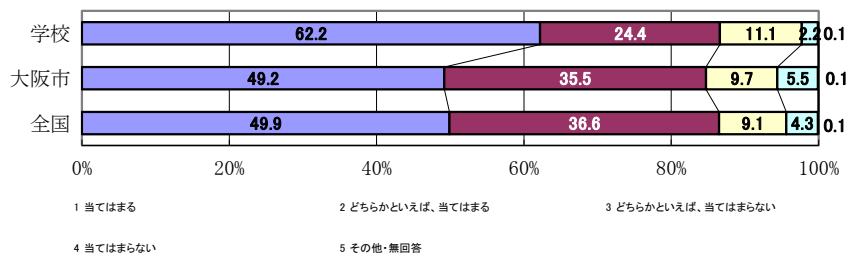
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



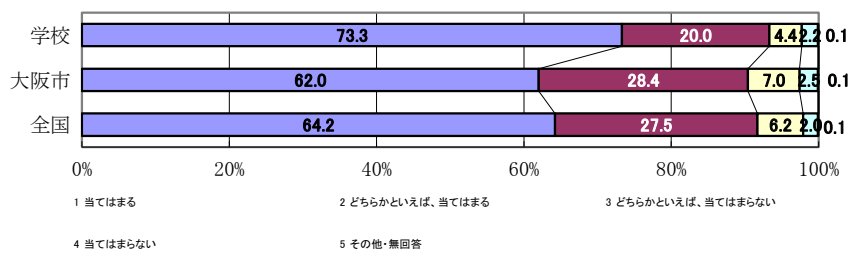
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



14

友達関係に満足していますか



## 児童質問より

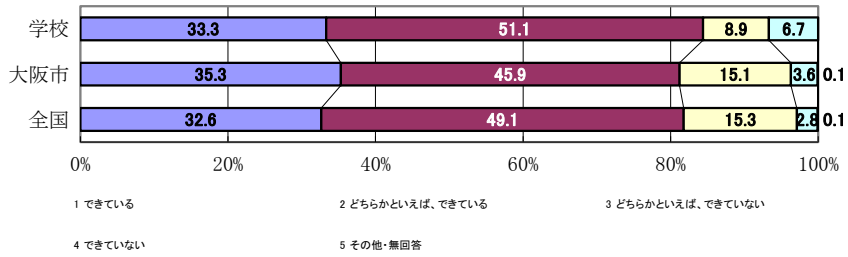
質問番号

質問事項

16

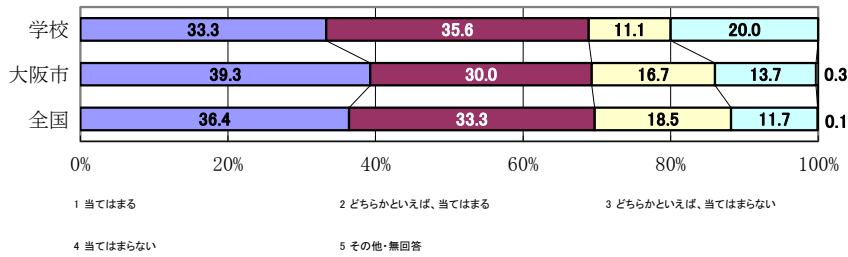
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



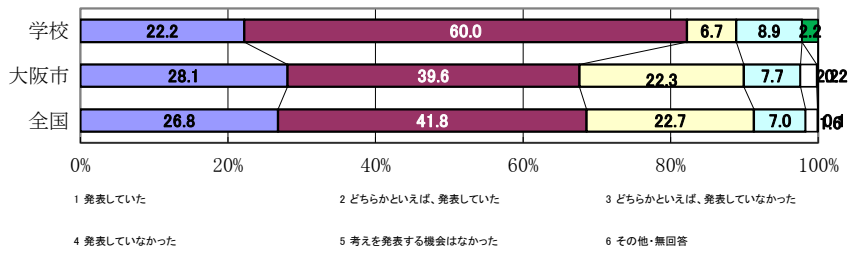
24

読書は好きですか



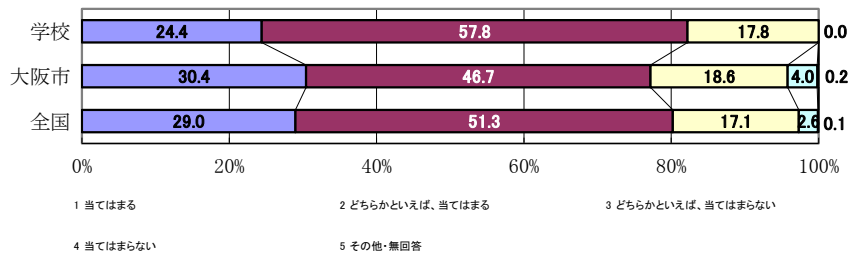
31

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



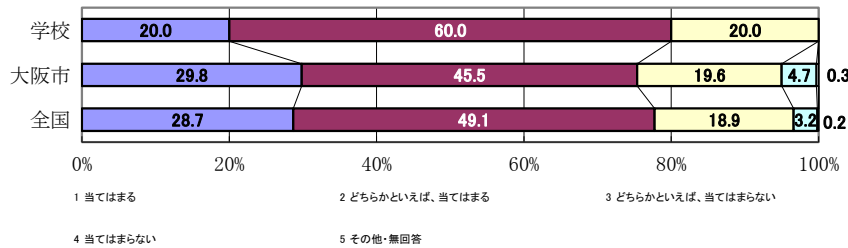
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



33

5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



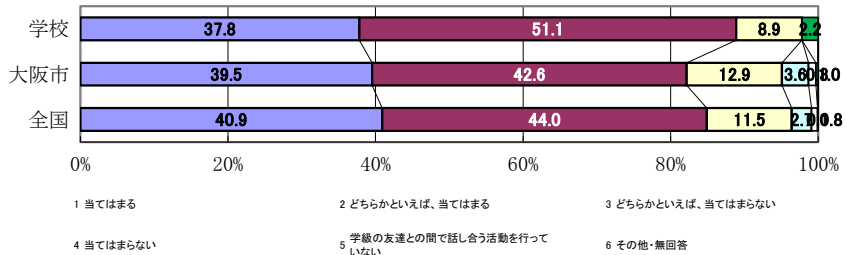
## 児童質問より

質問番号

質問事項

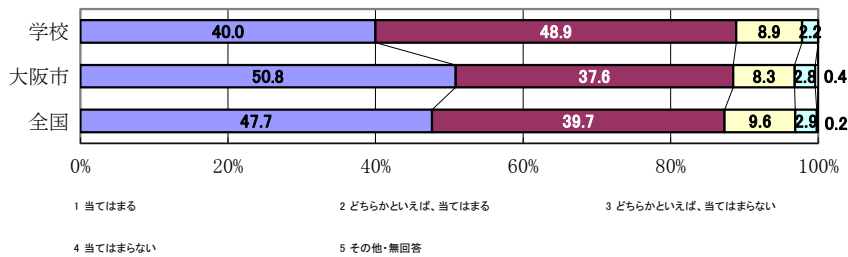
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



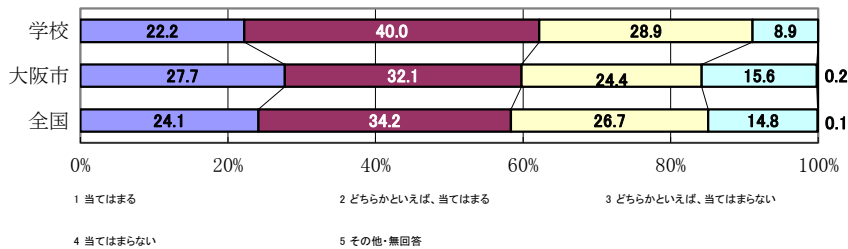
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



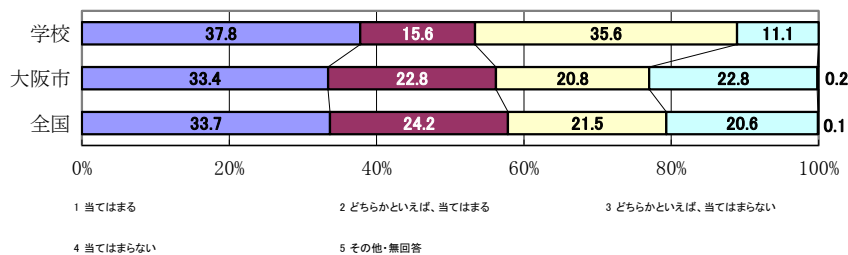
45

国語の勉強は好きですか



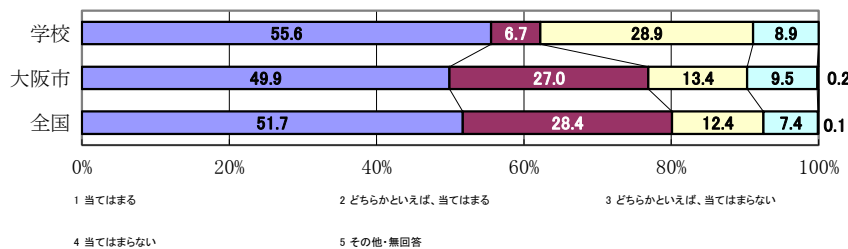
53

算数の勉強は好きですか



61

理科の勉強は好きですか





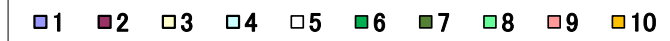
## 学校質問より

質問番号

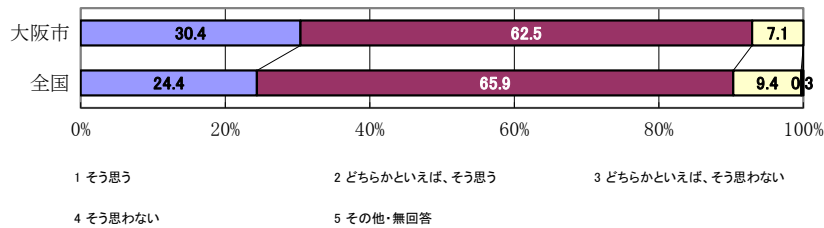
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか



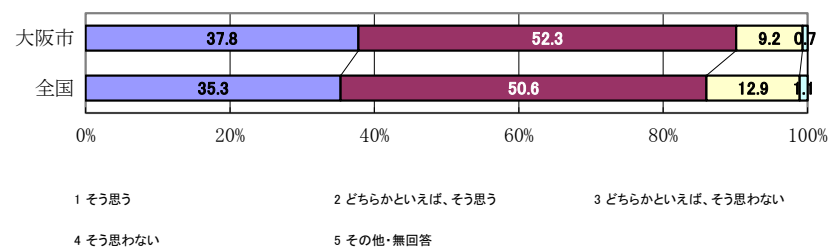
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

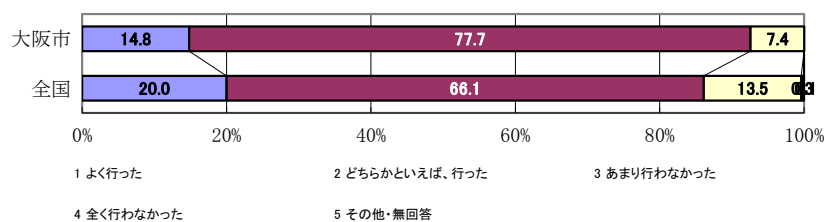
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

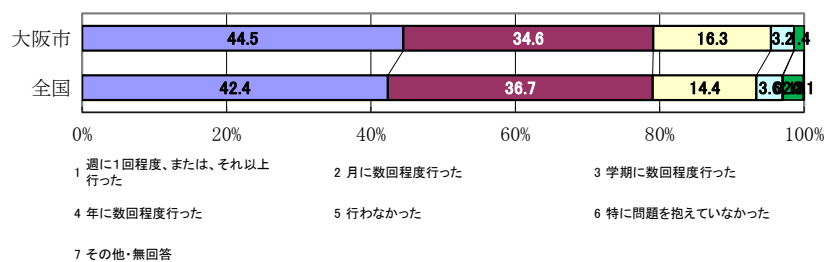
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

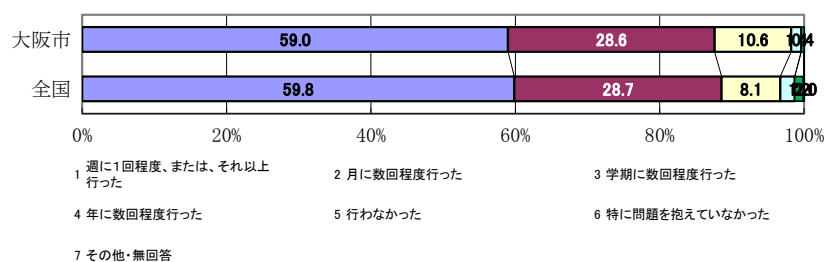
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



## 学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

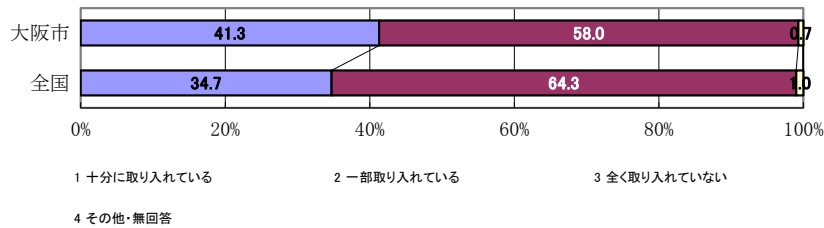
質問番号

質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化  
(事務の軽減)の優良事例を十  
分に取り入れていますか

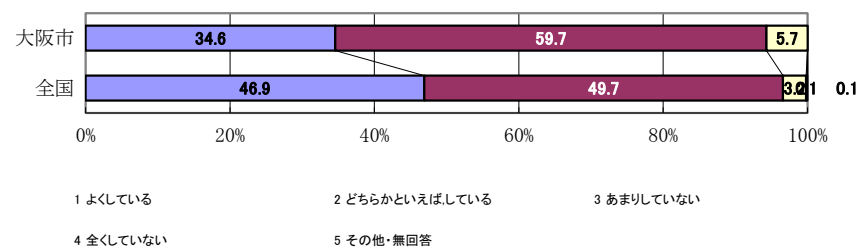
学校 「十分に取り入れている」を選択



14

教育課程表(全体計画や年間  
指導計画等)について、各教  
科等の教育目標や内容の相  
互関連が分かるように作成し  
ていますか

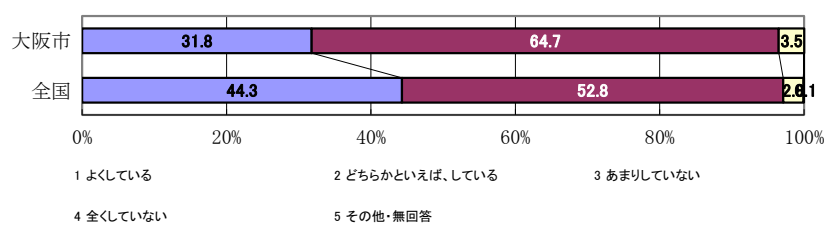
学校 「どちらかといえば、している」を選択



15

児童の姿や地域の現状等に  
関する調査や各種データなど  
に基づき、教育課程を編成し、  
実施し、評価して改善を図る一  
連のPDCAサイクルを確立して  
いますか

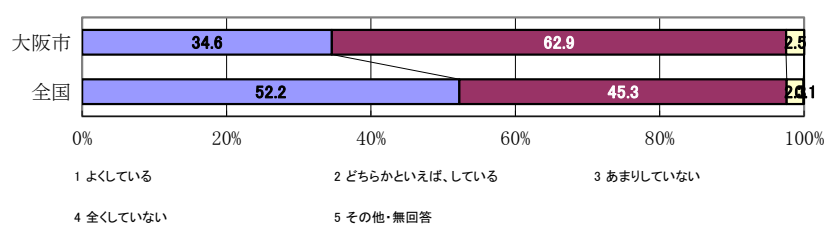
学校 「よくしている」を選択



16

指導計画の作成に当たって  
は、教育内容と、教育活動に  
必要な人的・物的資源等を、  
地域等の外部の資源を含めて  
活用しながら効果的に組み合  
わせていますか

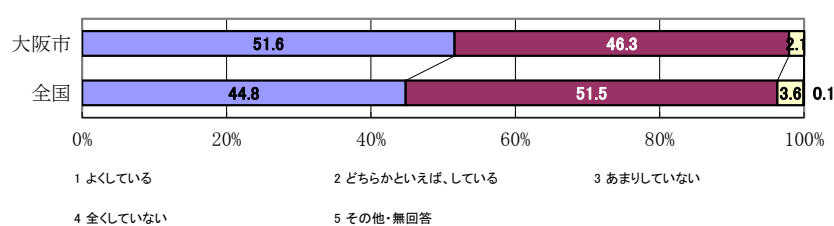
学校 「どちらかといえば、している」を選択



17

言語活動について、国語科を  
要しつつ、各教科等の特質  
に応じて、学校全体として取り  
組んでいますか

学校 「どちらかといえば、している」を選択



## 学校質問より

質問番号

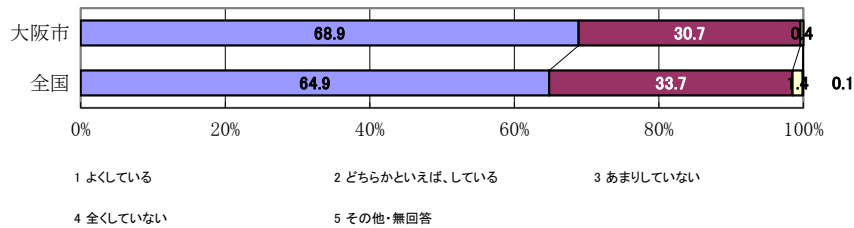
質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

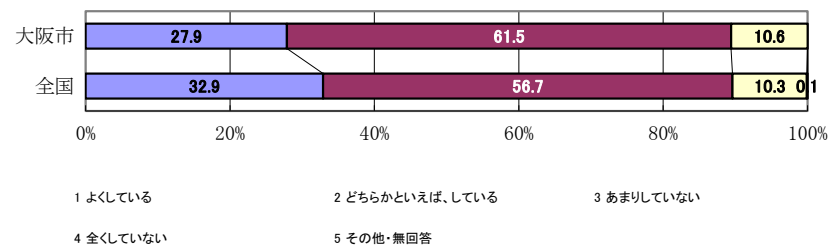
学校 「どちらかといえば、している」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

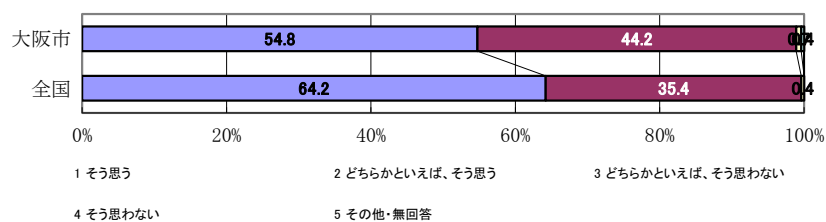
学校 「よくしている」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

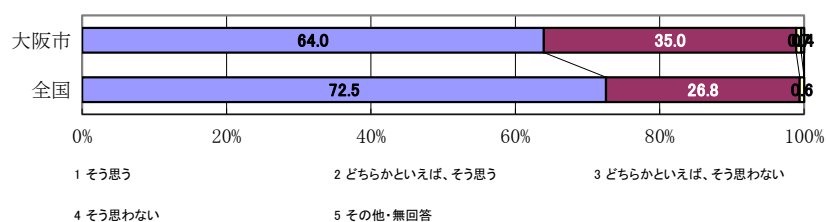
学校 「そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

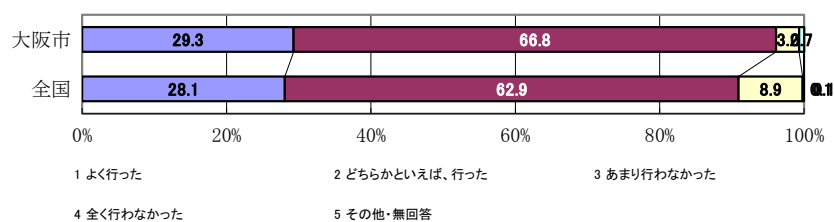
学校 「そう思う」を選択



30

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



## 学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

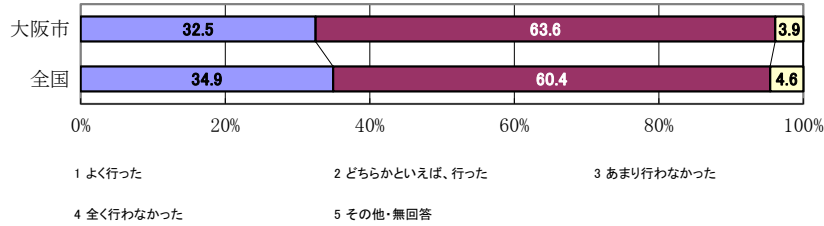
質問番号

質問事項

31

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

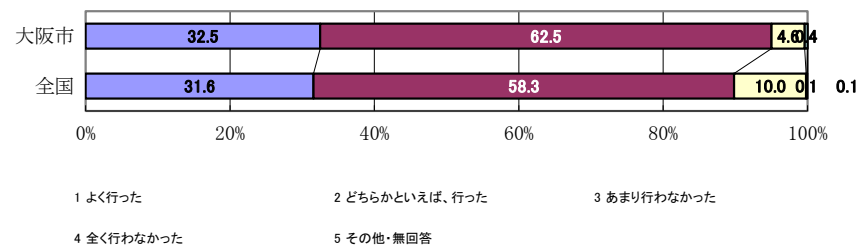
学校 「よく行った」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

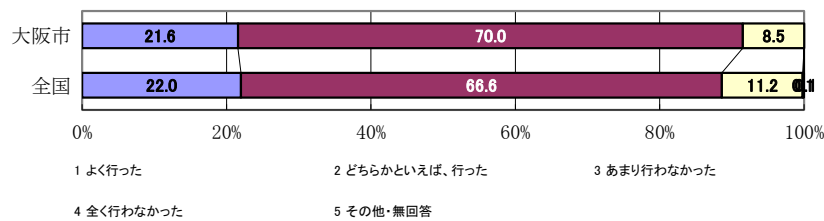
学校 「よく行った」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

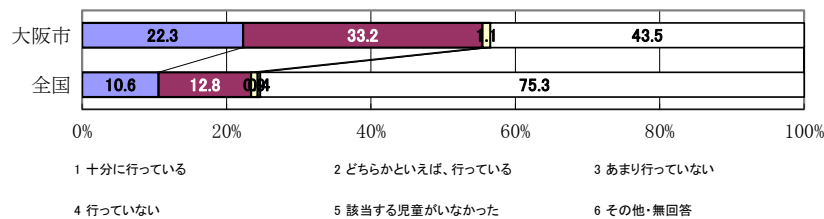
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



71

学校では、調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

学校 「十分に行っている」を選択



76

地域学校協働活動の仕組みを生かして、保護者や地域住民との協働による活動を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

